

東っ子の到達点と今後に向けて

～平成28年度 2学期末「学校評価アンケート」の結果から～

H29・1・11

東小学校 PTA 会員 様

伊豆市立修善寺東小学校

2学期末「学校評価アンケート」へのご協力、ありがとうございました。アンケート等のまとめを報告いたします。今年度の教育活動の取り組みをふり返り、東っ子の到達点（成果）を確認し今後の課題を明らかにすることによって、本校の教育活動の改善につなげていきたいと考えます。皆様からいただいたご感想やご意見とそれに対する学校としての構え（考え）についても掲載しましたのでご覧ください。

(1) 良い結果を示した内容（「よくあてはまる」・「まあまああてはまる」の合計が90%以上の項目）

アンケート調査で「1または2」の評価が90%以上の高評価となった項目は、14項目でした。今年度1学期末調査と比べて3項目ふえました。そのうち、「よくあてはまる（1の評価）」よりも「まあまああてはまる（2の評価）」の方が数値の高い項目は6項目、「よくあてはまる（1の評価）」の方が高い（＝より評価が高い）項目は8項目でした。前進を確認することができると思います。その中から、特に高い評価となっている項目について考察をしていきたいと思います。

① **24「東小学校は、保護者の協力を得て、読み聞かせや図書室整備に力を入れている。」（98.3%）**

（1学期より↓ ・児童評価93.9%）他の学校にはない、本校の特色ある取り組みとして24年度から取り組んでいただいているPTAのみなさんによる読み聞かせ活動の積み重ね、あるいは図書館司書の企画をもとに、図書ボランティアのみなさんのご協力を得て行っている読書環境の整備や読書推進の取り組み（「ピンゴの鉄人」「伊豆市読書百選」「必読書読破」「読書貯金カード」「Xmasカードづくり」等）により、子どもたちの読書意欲を高めていると評価しています。さらに昨年度より提唱している修善寺地区統一の「ノーマディアデー」を活用しての「親子読書」「週末読書」の呼びかけの効果も含めて、子どもたちの読書への意欲は増していると思います。さらに1学期末から金曜日放課後の「図書貸し出しボランティア」のみなさんのご協力により、週末読書を推進する環境がさらに整備されました。ふだんは家庭学習、自主学習、習い事等で読書をする時間がなかなか確保できないと思いましたが、週末を中心にして、家族そろって読書を楽しんだという報告が聞こえてきました。うれしく感じ、今後の広がりをさらに期待していきたいと思います。（3学期の「生活はなまるカード＝生活ふり返り」では、「ノーマディアデー＝NMD」の取り組みを記録するようになる予定です。）

② **14「お子さんは、登下校や自転車の乗り方等、ルールを守った生活ができています。」（97.4%）**

（1学期より↓ ・児童評価96.5%）全校児童は、毎日ランチルームに一堂に会して給食を食べています。（1・2学期は縦割りグループごとに、3学期は学年ごとの席で実施。）片付け後の時間を利用して、特に安全に関する情報提供や指導に関する話を担当教師から伝えていきます。週末には、交通量が増えることに触れ、交通安全の注意事項を繰り返し話して

います。不審者情報や子どもたちの安全にかかわる情報が入った場合には、「時を逃さない指導」として、丁寧に状況を説明したり、「いかのおすし」の大切さについて指導したりしています。「自分の命は自分で守る」を基本姿勢として、繰り返し子どもたちに指導していくことで、安全に関する意識を高めていくようにしています。また、ルールや約束を守ることは、集団生活に秩序をもたらし、教育活動の効果を上げるための前提となります。ご家庭でもいろいろな約束を子どもと確認しながら、規則遵守の心情を醸成していけたらと思います。また、学校に寄せられた情報には、校門前の横断歩道で子どもたちを渡そうと停止した車の横を追い越していく車があり、子どもが危ない目に遭ったという報告がありました。善意の譲り合いが、事故の危険につながるのは皮肉な話ですが、そういうことも含めていろいろな場面を想定して自分の安全を守る習慣付けの指導を続けていきたいと思っています。

③ **12「お子さんは、正しくつ箱を使っている。」(97. 4%)** ~1学期より↓

(児童評価99. 1%) 「はきものをそろえると心もそろ。心がそろと、はきものもそろ。ぬぐとときにそろえておくと、はくときに心が乱れない。誰かが乱しておいたらだまってそろえておいてあげよう。そうすれば、きっと世界中の人の心もそろうでしょう。」

・・・この詩は、昇降口を中心にトイレなど、はきものをはきかえる場所に掲示してあります。トイレのスリッパの整とんは、保健給食委員会の5, 6年生が定期的にチェックし、その結果をランチタイムで報告しています。整とんすることについての子どもたちの意識は確実に向上しています。みんなが使う場所の整とんは、基本的生活習慣の一つとしてしっかり身に付けさせたいと思います。全体としてはその意識は向上していると思います。



④ **25「お子さんは、学校生活を楽しんでいる。」(95. 6%)** ~1学期より↑

(児童評価91. 4%) この項目は、全市統一5項目の1つの質問項目です。集計結果は、各地区との比較もされますので、本校の状況がどれくらいかということも把握できます。

入学から卒業までの6年間をほぼ同じメンバーで過ごすとともに、全校の児童のほとんどがお互いに顔見知りであることは、安定した人間関係の中で生活を創っていくということから考えると、子どもたちにとって安心できる環境であり、学校生活を楽しむためには好条件かもしれません。学級は、安心して生活するためにも大事で、基礎的な集団になります。助け合い、励まし合い、ともに高め合う集団として、日々切磋琢磨していけるように、学校全体として、一人一人の子どもたちを見守り続けていきたいと考えています。また、「学校が楽しい。」と思える第1の理由は、授業が分かることであり、分かったからまた知りたいと学ぶ意欲をもつことだと考えます。さらには、良好な人間関係のもと、屈託なく遊び合える環境があることだと思います。放課後、学年の枠を超えて闊達に遊ぶ光景は、開放された子どもたちの笑いがはじけていて、これが小学校のあるべき姿だと思えるほどです。常に目標を立て、節目に向かって努力を続ける子どもの姿に、活力のある学校を実感することができます。

⑤ **8「お子さんは生活上のルールやきまりを守ろうとする気持ちが育っている。」(94. 8%)**

(1学期より↓ ・児童評価96. 5%) 現代社会においては、ルールを守らなかつたり、正直にルールを守って生活したばかりに損な目に遭ったり、というようなことがなくはないですが、ルールを守って生活する習慣や態度を育成することは、社会生活上の基本です。「正直者がばかをみない」社会を形成していく責任は大人にあります。そういう意識を常にもち

たいものです。学校という集団生活をスムーズに、一人一人が安心して安全に過ごすためには、ルールへの遵守が根底になければなりません。決まり事は時間とともに、その確認が曖昧になったり、ルーズになったりすることもありますので、折に触れて担当教師から確認の指導を入れるようにしています。確認事項は、全校共通理解で進むようにしています。

⑥ **20「東小は、教育環境が整えられ、施設等の有効利用ができています。」(94.0%)**

(1学期より↓ ・児童評価99.1%) 昨年度のジャングルジム(すべり台)、ブランコ、鉄棒の設置に続いて、今年は、肋木(ろくぼく)と登り棒が設置されました。体育の時間には、サーキットトレーニングの一環に加えられ、腕の力や体を使って上る力を鍛えることができます。砂場の枠組みの取り替えと砂の入れ替えを行った結果、砂場遊びをする子どもたちも増えました。新しい遊具は子どもたちにとって、魅力的なようです。今後も東小の子どもたちの体力の現状等も考慮しながら設置の必要があるものを検討していきたいと思えます。また、本年度より試行的に実施が始まっているCS(コミュニティスクール)推進委員会の活動によって、校庭まわりの樹木の剪定を行っていただきまして、校庭が明るい日差しがたっぷりと降り注ぐ環境になっていることも合わせて報告したいと思えます。

⑦ **7「地域が学校を支援する活動が活発である。」(市内統一項目)(93.9%)**

(1学期より↓ ・児童評価95.6%) 本年度から本格的、具体的に「コミュニティスクール」(CS)推進の活動がスタートしました。地域のみなさんの力を借りながら、子どもたちの学習しやすい環境を整えていこうという趣旨です。分野はいろいろですが、できるところから手をつけていこうという話し合いが5月の会議で確認されました。さっそく、本立野地区のみなさんを中心に学校敷地周辺の草刈作業をしていただきました。見通しが良くなりとてもすっきりしました。また、以前からご協力をいただいておりますが、2年生や3年生の生活科・総合の学習で取り組んでいる畑の作物栽培のお手伝いも熱心に行っていただいております。収穫された作物をうれしそうに家に持ち帰る子どもたちの表情は、にこにこ顔です。このように、地域のみなさんのご協力のおかげで様々な活動が実現しているわけですが、今後も、より多面的なご協力をいただけるようになると、さらに子どもたちの活動の幅が広がると思えます。地域のみなさんに支えられて成り立つ東小学校です。

⑧ **6「お子さんは、決められた家庭学習を行うことができている。」(93.1%)**

(1学期より↓ ・児童評価95.6%) 「東小家庭教育5つのお願い」「東っ子家庭学習の手びき」によって、家庭学習への取り組みが全校的に整備され、取り組む目標時間や学年の系統立った内容が共通理解されて実施してきたと思えます。「音読・漢字練習・算数プリント・日記・自主学習」は、学年に応じて基本セットとして毎日必ず取り組むものとして定着しています。また、宿題プリントはその間違い直しをその日のうちにやり切ることにして取り組んでいます。やり切らないうちは、遊ばない約束も守っています。その成果が学力の向上につながっていると言えます。さらに、「生活はなまるカード」や学級ごとのチェックカードを活用して、ご家庭でのご協力を得ていることも、子どもたちが家庭学習の習慣を身に付けることができている要因と考えます。高学年においては、「自主学習」の内容も多様化し、予習や復習をすることによって、ノートづくりにも成長の跡が見られますし、学習の幅も広がりつつあると思えます。身に付いた学習習慣をもとに、授業での理解力、思考力、表現力等の向上につなげていきたいと思えます。

⑨ **17「東小学校の参観会や懇談会、保護者面談等の期日や回数は適当である。」(93.1%)**

(1学期より↓ 今年度は、1学期の参観会を1回減らしました。1学期には家庭訪問、保護者面談があり、教員と保護者のみなさんが顔を合わせて話す機会ももっていることから、6月と7月の参観会を合わせて行う形にしました。年間のバランスも考えたとき、概ね好評価をいただいているのではないかと思います。「ご意見」でもご指摘をいただき記述しま

したが、参観会は減っても懇談会はふえ、学期1回以上の懇談は確保されています。)ただ、参観会に合わせて実施していたリレー会が、どちらか一方だけを参観会に当て、もう一回は平日に行うとすると平等を欠く恐れがあるということで、2回とも平日に実施することになりました。結果として、仕事の関係等で「見に行きにくくなった。」という声も聞こえてきます。また、リレー会については、その実施形態や回数も含めてご意見をたくさんいただきました。「保護者のみなさんの要望と学校の考え方」の項でも説明していますが、今後その在り方を検討していきたいと思います。

⑩ **13「お子さんはクランクぶきをしたり、ほうきで掃いたりして黙って掃除ができています。(92.1%)**

(1学期より↓ ・児童評価95.6%) 「学校磨きは心磨き」・・・年度当初の生活ガイダンスでは、学校経営の大きな柱として、清掃への取り組みを設定しています。清掃活動はただ単に汚れているからきれいにするということにとどまらず、床や廊下を心を込めて磨き上げることを通じて適度にやればいいんだというような安易な気持ちではなく、一生懸命磨いてきれいにするんだという、言わば自分の心を鍛える場面として重要視しています。重点目標「いい目と心で 聞きます 話します 磨きます」にも掲げているように、清掃への取り組み(合い言葉は、「黙働」と「クランクぶき」)は、その実現の場の一つとして位置付けられるわけです。本年度、至る所で黙働する子どもたちの姿が見られます。全校に広がってきました。掃除の時間、東小では言葉が聞こえず、ほうきで掃き、ぞうきんで拭くかすかな音しか聞こえてきません。そんな状況になってきています。東小の子どもたちの心は磨かれてきています。ご家庭でも冬休みの大掃除などで活躍できる場面があったと思います。ご家族そろっての清掃活動はいかがでしたか。学校と家庭と双方での取り組みが相乗効果となって機能していくといいと思います。

⑪ **15「東小中学校は、交通安全、防災、不審者に備える体制や訓練が十分にできています。(91.3%)**

(児童評価100%) 非常事態を想定した訓練は一度やっておけば安心、というものでもありません。いざというときには、だれでも相当慌て、訓練したことが生きるかどうか分かりませんが、訓練を通して、自分自身で判断し行動する力を付けさせていきたいと思います。自然災害への対応でも、情報収集に基づいた確かな判断と安全確保の方法を決定し、実践する体制を今後もとっていききたいと思います。また、地域には、「かけ込み110番の家」が設置されており、子どもたちも万が一の時には、そういう所に緊急避難するように指導しています。不審者が出現したときには、情報交換を行い、メール配信等でみなさんにもお知らせしています。自分の身は自分で守ることは前提ですが、地域をあげて子どもたちを守る仕組みも大切にしていききたいところです。よろしくお願いします。(CSの取り組みとしても、「下校見守り」のみなさんの活動も始まっており、心強く感じています。)

⑫ **16「お子さんは、友達から良い影響を受けながら、学習を進めている。(91.3%)**

(1学期より↑ ・児童評価94.8%) この項目については、初めて高評価グループに入った項目です。「高め合い、助け合い、学び合い」という合い言葉を学級の目標として掲げることも多いように、個人個人がばらばらに学ぶのではなく、協働して学び合うことにこそ学校の存在意義があると思います。つらいことから人間どうしても逃げたくなります。しかし、そこにがんばる友達の存在があるとき、自分もがんばってみようと思いきっかけになることもあります。目標にすべき友達(あるときはライバル)がいることはとても大事なことです。友達から良い影響を受けながら学ぶとは、学級のよりよい人間関係、つまり、一緒に励まし合って進んでいこう、意見をぶつけ合って学びを深めていこう、だけど苦しんでいる子がいたらともに助け合っていこう、そういう心を育てていくことだと思っています。学習指導と生徒指導は車の両輪です。大事にして進んでいきたいと思っています。

⑬ **5「お子さんは授業内容が分かっている。(91.3%)**

1学期より↑

(児童評価 97.4%) この項目も高評価グループの仲間入りを果たした項目でうれしく感じるどころです。「分かる授業」を続けていくことは、言ってみれば学校の根幹にかかわる最も大事な学校の重点です。教員の本分である研修でも、年間を通して、授業研究を中心とした研修を積み重ね、その中で分かる授業、学ぶ意欲、学び合う集団づくり等の研究に取り組んでいます。また、家庭学習の取り組みの中で、宿題プリントの間違い直しは必ずその日のうちに直しきる、ということに約束として取り組んでいます。その日のうちに直すことで、分かる喜びを、やり通した達成感を味わうことで、分かるって楽しいことだという思いをふくらめていくことができているのではないかと思います。授業は楽しい＝分かる喜び、という基本を押さえて進みたいと思います。

⑭ **1「お子さんは、人(先生、友達、家族)の話をしっかり聞いている。(91.3%) 1学期より↑**

(児童評価98.2%) この項目も高い評価群に入ってきた項目です。本校の重点目標でも「いい目と心で聞きます伝えます磨きます」と掲げているように、「聞く・話す」は、授業やいろいろな活動の中で大切にしているポイントです。話を聞くことは、何事をするのにも基本となることです。各学年の教室には、「聞く技」「話す技」の目標レベルを掲示して意識できるようにしています。授業の中で、友達の考えや意見を聞くと、その人の方を向き、納得できる時には肯いたり、相づちをうったりすることで賛意を伝えると話し手もとても話しやすくなるという好循環を生みます。市が掲げる教育目標の1つでもありますので、今後も大切にしていきたいと思います。

(2) **低評価だった項目(「あてはまらない」・「全くあてはまらない」の合計が30%程度の項目)**

「3」「4」の合計が30%程度の低評価になった項目数は、3項目でした。

① **21「お子さんは、整理整頓や片付けができる。」(「3」「4」の合計が、51.3%) 1学期より↑(悪い)**

(児童評価＝できている～89.5% ↓) 例年この項目が、お子さんと保護者の方の評価ポイントの差が一番大きい質問項目となっています。今学期はさらにその「乖離」が大きくなっています。学校生活においては、一人のお子さんに割り当てられたスペースは小さくなく、机の中とロッカーくらいです。トイレスリッパの整とんも、保健給食委員会の呼びかけを中心とした取り組みによって意識が向上しています。限られたスペースに関して言えば、子どもたちが答えている通り、整頓できているということになると思います。一方、家庭に帰ると、自分の責任において整理整頓したり片付けたりする範囲は広がるでしょう。自分の部屋を自分の責任できれいにしなければならない環境の子どもたちも多くいると考えられます。置かれた環境の違いが、評価の数字が大きくかけ離れている理由かもしれません。もちろん、学校の限られたスペース(机の中の道具箱など)でさえ、整理整頓がなかなかできない子も確かに見られますので、効率的な学習ができるようにするためにも、引き続き整理整頓が習慣付くように指導していきたいと思います。

② **19「お子さんのゲーム等の利用は、家庭での約束を守ってやっている。」(40%) 1学期より↑**

(児童評価＝できている～90.5%) 前述の通り、ゲームをしない日～ノーメディアデーの取り組みを昨年度から呼びかけています。(毎月19日)「生活はなまるカード」の生活振り返りの取り組みでも、ゲームの仕方、時間の約束は掲げられています。意識してほしい項目ですが、なかなか難しいことかもしれません。少しずつゲーム時間を減らす、ということでチャレンジしてほしいと思います。そしてその時間を読書にあてていけるとなおさらいいかなと思います。生活習慣を整え、元気よく学校生活をおくるためにも、節度ある生活態度(時間の約束を守る)を守るように呼びかけたいと思います。

③ **23「お子さんは、本に親しみ、自主的に読書をする習慣が身に付いている。」(36.5%) ↑**

(児童評価＝できている～91.3%) 本年度も「週末読書」の取り組みに力を入れてい

ます。子どもたちは週末もなかなか忙しく、せっかくの休日で保護者の皆さんもゆっくりしたいところだと思いますが、この「週末読書」は、「ノーメディアデー」と並んで、テレビやゲームを消して親子で一緒に読書時間を共有する、という提案です。金曜日の放課後、ボランティアの保護者のみなさんが、「本の貸出業務」を行っていただくようになりました。金曜日に本を借りて土日に読む環境が整ったことになります。ありがたいことです。家族そろって本を手にする時間があると、子どもたちへの定着も効果抜群だと思います。ぜひ、引き続いて取り組んでください。学校では、図書館司書の先生を中心に様々な読書推進のための企画が行われ、子どもたちはそれらに喜んで取り組んでいます。図書室へ行く子どもたちの数もとて多くなっています。「ピンゴの鉄人」「伊豆市読書百選」「多読賞表彰」「読書貯金カード」等、様々な取り組みによってますます読書好きな子が増えていくことを願っています。ご家庭での取り組みもお願いします。



※今後課題となりそうな項目…「3+4の評価が20%をこえているもの。」

- ◆ **9「お子さんは困ったときに教師に相談している。」(26.9%) 1学期より↓**
(児童評価＝できている～83.4%) あえて相談するほどでもない、小さなことならば、先生に相談しないこともあるのかもしれませんが。学期に1回ずつ子ども全員を対象にした「教育相談」を実施していますが、その時には、日頃感じていることを素直に話しかけてくる子どもも多くいます。それ以外にも、日頃からの観察を通して「少しちがうかな」と感じる子どもの表れが見られたとき、こちらから声かけをするようにしています。気軽に相談できる雰囲気をつくるように努めていきたいと思います。また、小規模校であるので、出入りの授業担当者や支援で入っている先生方から見た子どもの表れ、縦割りグループでの様子から等、いろいろな場面で見られる子どもたちの様子を共有し、同一歩調で進んでいけるように連絡を密に取っています。
- ◆ **11「お子さんは、早寝早起き朝ごはんの習慣が身についている。」(22.6%) 1学期より↑**
(児童評価＝できている～93%) 早寝早起き朝ごはんの呼びかけを始めてから、数年経つと思います。毎年行っている「朝食摂取調査」でもほとんど100%の子が朝ごはんを食べて登校しているという調査結果が出ています。しかしながら、自主的に(自分の力や習慣で)朝起きて、進んで支度をしてどんどん出かけるということができていないのかなと思います。家族としては、自分でどんどん行動してほしいと思うわけですが、子どもはそこまで動いてくれないと感じておられるのでしょうか。自主性を大切に育んでいきたいところです。

*この「2学期学校評価(保護者アンケート)のまとめ」については、別冊の「保護者の方からのご意見とそれに対する学校の考え」と合わせてお読み取りいただきたいと思います。また、それらに対してご意見がありましたら、学校へお寄せください。

修善寺東小学校 72-0420
(担当) 岩代 孝一

NO.	保護者の方からのご意見
1	<p>運動会を熱中症や台風(雨)の心配が少ない春に実施するのはどうか。(進級したばかりで難しいかもしれないが。)</p>
	<p>昨年は残暑が厳しくて外での練習がなかなか実施できず、また当日早朝まで続いた降雨によるグラウンドコンディションの回復作業に手間取ったこと、本年度は、練習期間が例年以上の「秋の長雨」にたたられ、十分な練習が積めないまま本番を迎え、しかも雨天により1日延期という、残念な開催が続きました。(本番はもちろん子どもたちのがんばりで盛り上がりましたが。) 職員の中でも「春開催を」という声が出ています。本校の場合、縦割りグループを運動会の色(チーム)編成の軸にしている関係上、春に新しい縦割りグループが結成され、活動が始まったばかりの段階で、運動会練習に取り組んでいけるかという問題があります。運動会そのものの在り方を再考する必要があります。(練習があまりできないという状況を考慮して、どのような形の運動会とするかの検討。) また、当然のこととして、運動会実施時期の変更に合わせて他の行事(特に、自然教室と修学旅行)の変更の必要も生じてきます。「運動会春実施」は、通常5月下旬から6月上旬を想定します。梅雨前に、ということになるのかなと思いますが、いずれにしても年間の行事・活動計画を整理しながら検討する必要がありますので、今後教育課程研修会で話し合いをしたいと思います。</p>
2	<p>読み聞かせは子どもたちのためとがんばってきたが、結構負担だった。(仕事への影響もあるが、人前で、というのが苦手な人もいる。) また、教師読み聞かせの方法として以前やっていたやり方(子どもたちが聞きたい本を読んでもらえる先生の所を選んでいく方式)も楽しかったらしい。</p>
	<p>東小の子を「読書好きな子どもに！」という願いの実現に向けて、これまで図書館司書の先生方の企画・運営、図書ボランティアのみなさんのご協力、そして全PTAの会員のみなさんのご協力による読み聞かせ活動の展開等により、子どもたちの読書への向き合い方は前進してきました。また、PTA全員で行っている読み聞かせの実践は、広く田方地区のPTA活動の中でも出色の取り組みとして注目されていることは何度も紹介しているとおりです。せっかく積み上げてきた実践ですので是非続けていってほしいと思いますが、「大変だ」という声も毎年上がってきています。そういうことも踏まえて、来年度以降の取り組みについて検討していこうと考えています。</p>
3	<p>リレー会の回数を増やしてほしい。実施日についても参観会にあわせて実施を。(複数意見)</p>
	<p>リレー会に対する要望も、「遠足」「読み聞かせ」と並んで多く寄せられる意見です。以前のように学年対抗の形をとれなくなったのは、学年ごとの人数が合わなくなり、公平な運営に支障をきたすという理由があります。(人数が少ない学年の子どもの負担。) 数年前からは、運動会で実施する「縦割り＝色別のリレー」につなげる形での実施となりました。今後実施する場合にも基本的には、縦割り(色別)対抗リレーという形にならざるをえないと思います。実施回数と実施日については、やはり運動会につなげるという点から1学期ということになると思えます。「参観会に実施を」ということですが、本年度並の実施回数と考えると、どちらか一方だけ参観日に実施ということになれば公平さを欠くことになるので、2回とも普通の日の開催という今年度の形にならざるをえないかなと思えます。いずれにしましても、今後のリレー会の実施につきましても検討していきたいと思えます。</p>
4	<p>参観会と懇談会の回数が少なくなったので増やしてほしい。(学級の状態など先生からの情報が役に立つ。)</p>

参観会の回数は1回減りましたが、懇談会につきましては、昨年度より1回増えています。年間の教育計画を作成する際、様々な行事や活動をバランスよく配置することを考慮すると、本年度の実施回数と時期が基本線となると思います。(他の学校でも同様の回数と承知しています。) 担任との情報交換の機会につきましては、保護者面談(秋の希望面談も含めて)、家庭訪問を活用すること、日常的には、学年だよりの情報等によって補完していければと思います。また、気になる表れや情報がありましたら随時学校から情報提供をしていきますし、ご家庭からもタイムリーな情報提供をお願いして、情報を共有し、同一歩調で進んでいければと思います。

5

もっと、季節の行事のようなものがあつたらいい。以前の例で言えば、秋の収穫祭や柿むき集会など合って楽しかった思い出がある。いろいろな経験をさせてあげたい。

近年、よく「子どもが楽しめる行事が少なくなった」というお叱りの声をいただくことがあります。言うまでもなく、学校は独自の判断で実施できることもありますが、基本的には文部科学省～県教育委員会～市教育委員会の方針や目標のもと、学習指導要領の内容を実施しています。現代社会は非常に複雑化し、教育もそれに対応していくことを求められます。大切にしなければいけないことが以前と比べて数段多く、多岐にわたっているのは事実です。子どもの負担過重にならないように、かつ、求められる教育活動をバランスよく行っていくことは、想像以上に大変です。とは言え、子どもたちが学校の主役であることは不変です。子どもたちが本当の意味で「楽しい学校」と思える実態を作っていくことは当然必要ですので、これから「本校の子どもたちにとって何が求められているのか」を明確にしながらかし合いを進め、来年度の教育計画を作成していきたいと思います。「季節を感じる教育活動」も大切な視点の1つだと思います。

6

保護者の親睦を図るには、運動会のメデシングボールがあるので、PTAのインディアカ大会を見直してもよいと思う。(やめる。) 参加者の少ない学年もあるし、先生方チームも出場しない。景品(代)も本の購入とか他に使い道はあると思うので。

そういう声があつたことをPTAに伝え、運営委員会、担当部会等で協議していただくようにしたいと思います。

7

バスを使って遠足にでかけるようにしてほしい。メンバーがかわるとは言え、毎年同じ虹の郷では子どもも楽しみにしなくなっている。バスで行く社会科見学に慣れるためにも隔年でもいいので検討してほしい。

バスを使っての遠足、への要望も毎年のようにいただいています。一番のネックは、この時期遠足を実施する学校が集中し、バスの確保が難しいことです。(特に、雨天延期になった場合の確保はほぼ不可能。)従って、本校では、「復活」した年から「徒歩での虹の郷遠足」を続けてきました。虹の郷さんにも大変便宜を図っていただき、子どもたちがのびのびと遊べるような環境を確保していただいています。ですが、4年連続で実施してきた「虹の郷遠足」以外に適当な候補地があるかどうか、学年単位で実施するのか全校遠足か、バス利用か徒歩か、等を検討し、来年度の遠足について計画を定めていきたいと思います。

8

エコキャップ収集はもう実施しないのか。参観日前に呼びかければ集まると思うが。

以前実施したときに、「エコキャップ回収活動」を統括する上部団体に、「不祥事」「不明朗な運営」が発覚して、そういう団体のもとで回収運動を実施するのは好ましくない、という判断で中断した経緯があります。従って、エコキャップ回収が目指す意義をもう一度明らかにし、それを子どもたちに十分に伝えた上で、なおかつ取り扱い団体が適正かどうか、実施に見合う効果が得られるのか、等を判断して、実施の有無(方向性)を検討したいと思います。そのことに関する情報提供をお願いします。

9

校長室に掲示してあるハッピーワードはすばらしい。友達の立場に立って考えることは難しいが、こういう言葉を友達から言われてうれしかったことは今後自分から友達に言ってあげられる。繰り返していくことで思いやりのある子どもになると思う。家でも多くのハッピーワードを使いたい。

ありがとうございます。優しい言葉、思いやりの心に裏打ちされた行動にあふれる東っ子に育っていくように、いろいろな試みを続けていきたいと思ひます。ご家庭でもよろしくお願ひします。

10 正門前の横断歩道で車を止め子どもを渡らせようとしたら、後ろの車が追い抜いてきてヒヤッとしたことがある。スクールゾーンとわかるように表示をした方がいい。下校時間は、徐行の呼びかけもしたい。

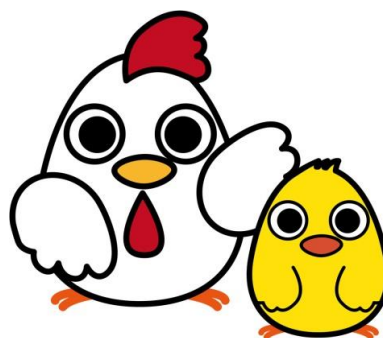
校門前は、スクールゾーンとしての工事が行われました。おかげさまで学校の前だ、という認識が運転者にも意識されるようになったのではないのでしょうか。合わせて、校門に「スピード落とせ！」の蛍光看板が2枚設置され、ライトが当たると反射して目立ちます。坂道でスピードが出やすい場所です。以前から危険が指摘されてきましたが、安全確保という観点から見れば前進したのではないのでしょうか。また、コミュニティスクール活動の取り組みの一環として、下校時の「見守り」をしていただいていることも子どもたちの安全確保という点から大変効果があります。とは言え、安全を守る最大の武器は、子どもたち一人一人の安全確保の意識と行動です。一旦停止での左右の確認等、自分で気を付けることが何よりも大事だということは今後もしっかり指導していきたいと思ひます。

11 この学校の規模では、縦割りグループの3色は好ましくない。さらに2グループに分かれ分かれづらひ。来年以降はだんだん数も減ってくるので運動会等さみしくなる。2グループ(色)にした方がいい。

色別グループ(縦割りグループ)編成の仕方については、今後の児童数減を考えると、検討していく必要があると思ひます。

12 子ども各自の個性や習得状況に合った、いわゆる個別指導を強化してほしい。

一人一人の学習状況や到達度に沿って、個々の児童に対応した指導は、現在でも心がけているところです。いわゆる一斉指導型の指導が中心にはなっていますが、個々の状況を見取り、それぞれの子どもの状況を考慮した支援を行うことは授業の柱となります。本校の研修でもそういった点を大切にしているところです。本校では、ご家庭のご協力も得ながら、家庭学習の取り組みを強化しています。その際の合い言葉は、「宿題プリントの間違ひは、その日のうちに直して帰る」です。昼休みや放課後を使って「直し」に取り組む子どもたちには教師が付き添って、まさに「個別指導」を行っています。一斉授業では対応しきれない所も、そういった時間を有効に使うことで、一人一人に対応することが可能となります。しかしながら、今般言われている「多忙化」の波は、本校にも例外なく押し寄せてきています。会議や研修、出張や調査への対応、…。放課後の時間も実は全て個別対応に使えるわけではないのが、厳しいところです。ですが、個に応じた指導(「個別指導」)は、今後も大切にしていきたいところだと承知しています。



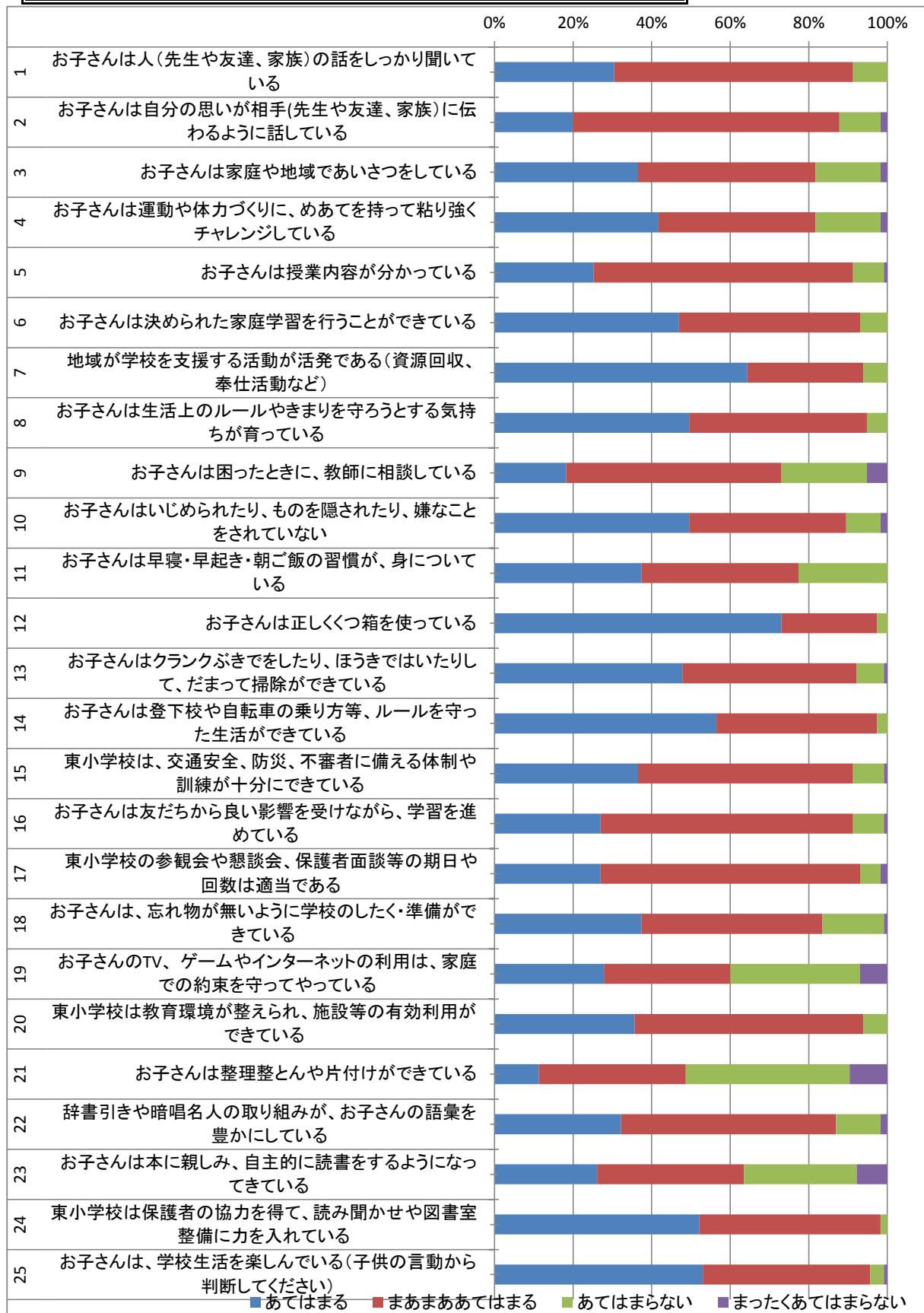
(文責 岩代孝一)

学校評価アンケート <全校保護者>

28-2学期

NO	質 問 内 容	1	2	3	4
1	お子さんは人(先生や友達、家族)の話をしっかり聞いている	30.4	60.9	8.7	0.0
2	お子さんは自分の思いが相手(先生や友達、家族)に伝わるように話している	20.0	67.8	10.4	1.7
3	お子さんは家庭や地域であいさつをしている	36.5	45.2	16.5	1.7
4	お子さんは運動や体力づくりに、めあてを持って粘り強くチャレンジしている	41.7	40.0	16.5	1.7
5	お子さんは授業内容が分かっている	25.2	66.1	7.8	0.9
6	お子さんは決められた家庭学習を行うことができています	47.0	46.1	7.0	0.0
7	地域が学校を支援する活動が活発である(資源回収、奉仕活動など)	64.3	29.6	6.1	0.0
8	お子さんは生活上のルールやきまりを守ろうとする気持ちが育っている	49.6	45.2	5.2	0.0
9	お子さんは困ったときに、教師に相談している	18.3	54.8	21.7	5.2
10	お子さんはいじめられたり、ものを隠されたり、嫌なことをされていない	49.6	40.0	8.7	1.7
11	お子さんは早寝・早起き・朝ご飯の習慣が、身についている	37.4	40.0	22.6	0.0
12	お子さんは正しくくつ箱を使っている	73.0	24.3	2.6	0.0
13	お子さんはクランクぶきでをしたり、ほうきではいたりして、だまって掃除ができています	47.8	44.3	7.0	0.9
14	お子さんは登下校や自転車の乗り方等、ルールを守った生活ができています	56.5	40.9	2.6	0.0
15	東小学校は、交通安全、防災、不審者に備える体制や訓練が十分にできています	36.5	54.8	7.8	0.9
16	お子さんは友だちから良い影響を受けながら、学習を進めている	27.0	64.3	7.8	0.9
17	東小学校の参観会や懇談会、保護者面談等の期日や回数は適当である	27.0	66.1	5.2	1.7
18	お子さんは、忘れ物が無いように学校のしたく・準備ができています	37.4	46.1	15.7	0.9
19	お子さんのTV、ゲームやインターネットの利用は、家庭での約束を守ってやっている	27.8	32.2	33.0	7.0
20	東小学校は教育環境が整えられ、施設等の有効利用ができています	35.7	58.3	6.1	0.0
21	お子さんは整理整頓や片付けができています	11.3	37.4	41.7	9.6
22	辞書引きや暗唱名人の取り組みが、お子さんの語彙を豊かにしている	32.2	54.8	11.3	1.7
23	お子さんは本に親しみ、自主的に読書をするようになってきている	26.1	37.4	28.7	7.8
24	東小学校は保護者の協力を得て、読み聞かせや図書室整備に力を入れている	52.2	46.1	1.7	0.0
25	お子さんは、学校生活を楽しんでいる(子供の言動から判断してください)	53.0	42.6	3.5	0.9

学校評価アンケート <全校保護者・グラフ>



N0		1	2	3	4
1	°x Û~ -á-- °Ö²³ Û• -	59.1	39.1	1.7	0.0
2	°x Û~ -á-- °Ö²³ ¶ ± á Ý Á ¼ © ,	46.1	47.8	5.2	0.9
3		62.6	33.0	4.3	0.0
4	MM‡[...4 ·x/ŠYC~_v~) tG\@[AZ8•	59.1	36.5	3.5	0.9
5	5 @ (?•	50.4	47.0	2.6	0.0
6	ƆÛ*††À€N_ v~) tG\@[AZ8•	81.7	13.9	2.6	1.7
7		65.2	30.4	2.6	1.7
8	Û/xÛ(íbÝîÝ #Õqb% ††òWZ#Õq[AZ8•	60.9	35.7	3.5	0.0
9	GrWS\Ac)#Õ_%&1/KS~ ŠKZv}WS~KZ8•	41.7	41.7	13.9	2.6
10	8LuS~ vb†7fKS~ mTUb8x@•G\†K^8	79.1	18.3	0.9	1.7
11	©7í©2sAí...H8ä @[AZ8•	59.1	33.9	6.1	0.9
12	W9O'ýbZ\††KZ CXb°€% †6ë4* <N_°€Z8•	86.1	13.0	0.9	0.0
13	M#ÕE‡u8 ;ÛâijA†KS~ o:A[c8S~KZ TrWZ27V@[AZ8•	59.1	36.5	3.5	0.9
14	ŠĪ/xW/b\Aó²_L8S~ ôr~†òWZ+~3?34_ÆWS~M•G\@[AZ8•	87.0	9.6	2.6	0.9
15	f^†0«)Ž[cf^†b% 2†%±WZ K†E‡_v~) tG\@[AZ8•	84.3	15.7	0.0	0.0
16	mTUb*f <†*0 8Z +† (b*f <_#Õ ?KZ8•	55.7	39.1	4.3	0.9
17	Û°b *°CfJí0ðMfJ †X?WZÛ*†[AZ8•	50.4	43.5	4.3	1.7
18	À€"@ @^8 :_Û/bKSC†KZ <†hXvENWZ8•	57.4	36.5	6.1	0.0
19	„ƆÅx‡îÒ -â±î¿µ°^]c Ɔ[b(Û°†òWZxWZ8•	60.9	29.6	8.7	0.9
20	M x'I9M çÛâ»^]cAE‡^G•@^C6²_4#HMG\@[AZ8•	87.0	12.2	0.9	0.0
21	Z#.O8\†x<?SYE@[AZ8•	50.4	39.1	9.6	0.9
22	(?)^80•-%†3i i[,8S~ /PjÇ†>p<S~KZ8•	44.3	41.7	12.2	1.7
23	8X[v1 u• :_•@3ÆC_6~ [v1 ‡[8•	60.0	31.3	6.1	2.6
24	>ðÛâ»x«•-Û-ÈÛÛî[&KC•†1 ‡T~ <#YKS~M•G\@[AZ8•	69.6	24.3	2.6	3.5
25		73.0	20.0	5.2	1.7

